

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
一 わたしはふしぎでたまらない	授業びらき 国語の授業について/自己紹介	2	○国語の授業の受け方、学習の仕方を理解する。 ○ノートの取り方や予習復習の仕方を紹介をする。 ○漢字練習や文字の書き方などの指導をする。 ○各自の自己紹介をする。	○授業への取り組み方について理解できている。 ○ノートの取り方や筆順、文字の形などに注意して正しく「書く」ことを意識している。 ○漢字ノートの使い方を理解し、漢字を正しく理解しようとしている。 ○自分のことを表現している。	○国語の授業に取り組むための準備をしている。 ○知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を身につけようとしている。 ○漢字を正しく覚え、思考力・表現力を伸ばそうとしている。 ○プレゼンテーション能力を高めようとして工夫している。	○ノートを取るなどして、理解を深めようとしている。 ○授業、家庭学習などの目標を立て、実際に取り組んでいる。 ○漢字ノートを活用し、漢字を正しく覚えようとしている。 ○表現力をつけ、積極的に発表に取り組んでいる。
	ふしぎ	4	○『ふしぎ』の魅力やおもしろさについて考え、互いに発表し合う。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている	○詩を「読むこと」において、表現技法を理解し、想像力や創造力を高めようとしている。	○すすんで「詩」を理解し、鑑賞力を高め、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
	桜蝶	4	○文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	○積極的に取り組み、工夫を凝らして内容を整理し、伝え合おうとしている。
	お気に入りの一品を紹介する	1	○自分の好きなことや好きなものなどについて考えをまとめる。 ○相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉	○自分の好きなことや好きなものなどについて考えをまとめようとしている。 ○相手の話を聞いて、視野を広げようとしている。	○「話すこと」・「聞くこと」において、自分の思いを伝え、相手の思いを捉えようとしている。	○積極的に取り組み、工夫を凝らして発表に取り組んでいる。
二 これはもとも	言葉とコミュニケーション	1	○言葉の重要性に着目し、コミュニケーション能力を高める。	○単語の概念を理解しようとしている。	○相手の反応を踏まえながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	○積極的に取り組み、表現しようとしている。
	文法(言葉の単位)	3	○言葉の単位と単語の識別を理解する。	○音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。	○文章の成り立ちについて考え、言葉を分析しようとしている。	○言葉のはたらきや仕組みを理解し、その役割を考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

と脳がもっている癖です	漢字の広場1 (漢字の部首)	1	○漢字の部首についての理解を深める。	○学年別漢字配当表に示されている漢字や、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○学年別漢字配当表に示されている漢字を、文や文章の中で使い、表現に活用している。	○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
	自分の脳を知っていますか	4	○文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。 ○文章の構成を捉え、要約に生かす。 ○「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。	○積極的に必要な情報に着目して要旨を捉えるとともに、学習課題にそって文章にまとめようとしている。
三夜、僕はもうヘルガの夢ばかり見た	ベンチ	6	○本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。	○すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
	内容を整理して説明する(プレゼンテーション)	3	○聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。 ○相手の反応を見ながら、話す内容を工夫して伝える。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら自分の考えが伝わりやすいように工夫している。	○粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。
	文法の小窓1 言葉の単位	1	○文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	○単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。	○文節に注意して、文章を作ることができる。	○積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。
	文法(解説)1 言葉の単位・文節		○「詩」の表現技法を理解し、詩を味わう。 ○音読のリズムや楽しさを味わう。	○比喩・反復・倒置などの技法を理解し、鑑賞力を高めようとしている。 ○オノマトペなどに注目し、音読の表現を味わおうとしている。	○場面の展開や心情の変化などを捉えようとしている。 ○群読などで、強弱をつけ表現をしようとしている。	○すすんで、表現技法を理解し、感じたこと伝えようとしている。
河童と蛙	4					

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

四 森と川と海は一つなのだ	持続可能な未来を創るために	6	○SDGsとは何かを捉え、地球規模の課題を考える。	○意見と根拠など情報と情報の関係などを理解している。	○集めた教材を整理し、伝え合う内容を検討している。	○自分の考えを持ち、考えを深めようとしている。
	根拠を明確にして意見文を書く。	2	○集めた材料を分類・整理して伝えたいことを明確にする。 ○目的や意図を意識して、案内文を書く。	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
	文法 (文の成分 主語・述語)	3	○主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	○文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。	○文の成分を理解し、主語や述語を意識して文章を作ろうとしている。	○すすんで文の成分の順序や照応について理解し、文の構成について理解を深めようとしている。
	行事等の案内文を書く	1	○案内文の性質を理解し、要点を捉える。	○文書の基礎知識を理解し、身につけることができたか。	○基礎知識生かして、思考力を高めることができたか。	○すすんで課題に取り組み、理解を深めようとしている。
	文法 (文の成分 修飾語)	1	○主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	○文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。	○修飾語を使って文章を作ろうとしている。	○すすんで文の成分の順序や照応について理解し、今までの学習を生かして文の構成につ
	漢字の広場2 画数と活字の字体	1	○画数と活字の字体についての理解を深める。	○学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で表現しとしている。	○漢字の画数を理解し、画数を意識して正しい漢字を書こうとしている。
	昔話と古典	3	○古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにつれる。	○音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	○すすんで音読に必要な文語のきまりを知り、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
五 川柳	4	○川柳の形式を知り、心情などを表現する。	○川柳の名作に親しみ、川柳について知る。	○川柳を味わい、身近な事柄を表現する。	○すすんで川柳の魅力を知り、味わおうとしている。	

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

口象は寂しく笑ってそう言った	オツベルと象	8	○語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ○場面・描写に注目して作品の要素を捉える。	○音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。 ○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	○粘り強く表現の効果について根拠を明確に考えるとともに、小説を読んで考えたことを記録しようとしている。
	文法 (文の成分 主語・述語)	2	○主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	○文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。	○文の成分を理解し、主語や述語を意識して文章を作ろうとしている。	○すすんで文の成分の順序や照応について理解し、文の構成について理解を深めようとしている。
	漢字の広場3 漢字の音と訓	2	○漢字の音と訓についての理解を深める。	○漢字の音と訓を理解し、使い分けようとしている。	○漢字の音と訓の違いを理解し、漢字を使い分けようとしている。	○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
六 今は昔、竹取の翁といふ者ありけり	物語の始まり	6	○古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ○『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。	○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	○積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。
	言葉の小窓2 日本語の文字	2	○日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	○日本語の文字の特質などについて理解している。	○文字に注目し、文章を書こうとしている。	○文字に関心を持ち、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
	文法 (文の成分 独立語)	1	○独立語の役割について理解する。	○独立語の特質などについて理解している。	○独立語を使った文章を書こうとしている。	○すすんで文の成分の順序や照応について理解し、今までの学習を生かして文の構成につ
	蜘蛛の糸	1	○名作を読み味わう。	○読書によって、思考力を高めようとしている。	○場面の描写や心情の変化を捉えようとしている。	○積極的に名作に親しみ、感性を磨こうとしている。
七 子	漢字の広場3 漢字の音と訓	2	○漢字の音と訓についての応用力を高める。	○漢字の音と訓を理解し、応用しようとしている。	○漢字の音と訓の違いを理解し、漢字を使い分けようとしている。	○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

どもは、一人の人間として、大人と同じように人権をもっている	中国の名言	5	○いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ○漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。	○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	○すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
	文法 (文の成分 連文節)	1	○連文節について理解する。	○連文節について理解を深めている。	○連文節を理解し、文章を読み取ろうとしている。	○すすんで文法について理解し、文の構成について理解を深めようとしている。
	百人一首大会への取り組み	1	○伝統的な文化や和歌に親しむ。	○歴史的仮名遣いを理解している。	○和歌を音読したり、聞いて読むことができる。	○和歌を覚え、味わおうとしている。
	子どもの権利	5	○専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。	○事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えて	粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おう
	調べた内容を聞く	1	○自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ○相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉える。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	○「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉えようとしている。
	言葉がつなぐ世界遺産／地域から世界へ	3	○事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ○筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。	○すすんで理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。
け八 渡 し こ こ い で あ く ま	森には魔法つかいがある	7	○必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ○問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ○筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分	○事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○「読むこと」において、文章の	○積極的に文章の構成について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことを書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

うる、 のま 。は 言 葉 な の を で 受	文法 (文の成分 自立語・ 付属語)	3	○自立語・付属語について理 解する。	○自立語・付属語について理 解を深めている。	○自立語・付属語を理解し、文 章を読み取ろうとしている。	○すすんで文法について理解し、 文の構成について理解を深め ようとしている。
	漢字の広場4 熟語の構成	1	○熟語の構成の基本的な型を 知る。	○学年別漢字配当表に示され ている漢字を書き、文や文章の 中で使っている。 ○事象や行為、心情を表す語 ○事象や行為、心情を表す語 句の量を増し、話や文章の中 で使うことをとおして、語感を磨 き語彙を豊かにしている。	○熟語の構成の違いを知り、 必要に応じて文章表現に活用 しようとしている。	○積極的に漢字を読み、また は漢字を書くとともに、今までの 学習を生かして文や文章の中 で使おうとしている。
九 そ う か 、 そ う か 、 つ ま り 君 は そ ん な や つ な ん だ な 。 ー	少年の日の思い出	8	○特徴的な語句の表現を理解 する。 ○場面の展開や登場人物の心 情の変化を、描写に基づきなが ら捉える。	○場面を展開や登場人物の相 互関係、心情の変化など捉え ている。	○場面の展開や登場人物の相 互関係、心情の変化など捉え ている。	○粘り強く登場人物の心情の 変化などについて捉えるるとも に、学習の見通しをもって小説 を読んで考えたことを記録しよ うとしている。
	文法の小窓3 単語のいろいろ 文法(解説)3 単語のいろいろ	2	○自立語と付属語、活用の有 無などの、分類の基準につい て理解する。	○単語の類別について理解す るとともに、指示する語句と接 続する語句の役割について理 解を深めている。		○すすんで単語の類別につい て理解を深め、今までの学習を 生かして言葉を分けて考えるこ との大切さを理解しようとして いる。
	発言を結びつけて話 し合う	1	○話題を意識して話し合い、発 言を結びつける。 ○いろいろな意見を整理し、自 分たちの感想や考えをまとめ る。	○原因と結果、意見と根拠など 情報と情報との関係について 理解している。	○「話すこと・聞くこと」におい て、目的や場面に応じて、日常 生活の中から話題を決め、集 めた材料を整理し、伝え合う内 容を検討している。	○すすんで互いの発言を結び つけて考えをまとめ、学習の見 通しをもってそれぞれの立場か ら考えを伝えようとしている。
	四季の詩	2	○それぞれの詩の題材を捉 え、描かれたイメージを想像す る。	○比喻、反復、倒置、体言止め などの表現の技法を理解し 使っている。	○「読むこと」において、場面 の展開や登場人物の相互関係、 心情の変化などについて、描 写をもとに捉えている。 ○「書くこと」において、読み手	○すすんで描写をもとに捉える とともに、今までの学習を生か して詩を創作しようとしている。
	方言と共通語	1	○方言と共通語の違いや特徴 について知る。	○方言と共通語の使い分けが できる。	○言葉の種類について理解し、 文章に表現することができる。	○すすんで言語について理解 しようとしている。

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
虹の足	3	○見えている「虹の足」とおして、見えていない「虹の足」について考える。	○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	○すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをプリントにまとめようとしている。
タオル	7	○文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 ○登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。 ○少年の気持ちの変化を捉え、表現の効果を考える。	○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	○すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
質問する力をつける	1	○伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。	○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。	○積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

の
お
い
は
、
そ
こ
に
も
あ
っ
た

日本の花火の楽しみ	6	<ul style="list-style-type: none"> ○図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ○説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ○花火の魅力について、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。 ○「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、内容を整理している。 	すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
説得力のある提案をする	2	<ul style="list-style-type: none"> ○話の構成を効果的に組み立てて話す。 ○根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。 	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 	○積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって主張しようとしている。
SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する	2	<ul style="list-style-type: none"> ○小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ○小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書きかえる。 	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。 	すすんで文章を比較するなどし、学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。
文法の小窓1 活用のない自立語 文法(解説)1 活用のない自立語	2	活用のない自立語のはたらきを理解する。	単語の活用について理解を深めている。		粘り強く活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

二
もはや逃げ場所はないのだ

新聞の投書を書く	1	○多様な方法で材料を集める。 ○社会生活の中から題材を選んで書く。	○言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。	○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
随筆の味わい	8	○古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ○言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。	○現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むこととおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	○すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことや考えたことを説明しようとしている。
漢字の広場2 漢字の成り立ち	1	○漢字の成り立ちについての理解を深める。	○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○漢字の成り立ちを知り、漢字の字源を理解して文章を作ることができる。	○粘り強く学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
夏の葬列	5	人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 ○時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。 ○作品の構成や展開、表現の効果について考えを深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

三
神様はその人にも乗り越えられない試練は与えない

構成を明確にして手紙を書く	3	○相手に対して適切に言葉を選ぶ。 ○書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。	○話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 敬語のはたらきについて理解し、文章の中で使っている。	○「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	○積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書こうとしている。
夢を跳ぶ	3	○自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。	○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ○「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。
漢字の広場1 まちがえやすい漢字	1	○似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○漢字の特徴を捉えて、文章に活用できる。	○粘り強く学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 言葉(解説)2 話し言葉と書き言葉	3	○話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。	○言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。	○話し言葉と書き言葉の違いを理解し、TPOに合わせた使い方ができる。	○粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

四 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり

近代の短歌	3	○話し言葉と書き言葉の情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	○すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。
敦盛の最期	8	○登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ○文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。	○歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ○現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	○すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。
漢字の広場3 漢字の多義性	1	○漢字の多義性についての理解を深める。	○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○粘り強く漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
根拠をもとに意見文を書く	1	○多様な考え方がある問題について根拠をもとに推論して考える。 ○考えの理由づけを示して意見文を書く。	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	○積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

<p>文法の小窓2 活用のある自立語</p> <p>文法(解説)2 活用のある自立語</p>	<p>3</p>	<p>○用言の活用と種類・用法を理解する。</p>	<p>○単語の活用について理解を深めている。</p>	<p>○自立語を活用させて、文章を作成することができる。</p>	<p>○自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</p>
<p>言葉の小窓1 敬語</p> <p>言葉(解説)1 敬語</p>	<p>2</p>	<p>○敬語のはたらきや特徴について知る。</p>	<p>○言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。</p>	<p>○敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。</p>	<p>○敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>
<p>水の山 富士山</p>	<p>5</p>	<p>○図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ○説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ○富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。</p>	<p>○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自</p>	<p>○すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>
<p>映像作品の表現を考える</p>	<p>1</p>	<p>○絵コンテを構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ○漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。</p>	<p>○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。</p>	<p>○積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>

土山に降った大量の雨は、どこへ行ってしまったのだ

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

<p>六 鯨や象のもつ「知性」は、いわば「受容的な知性」とでも呼べるも</p>	<p>ガイアの知性</p>	<p>6</p>	<p>○筆者が用いる語句の意味を捉える。 ○筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ○自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。</p>	<p>○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>○すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>
	<p>言葉の小窓3 類義語・対義語・多義語・同音語</p> <p>言葉(解説)3 類義語・対義語・多義語・同音語</p>	<p>2</p>	<p>○日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。</p>	<p>○類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>○類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などを使って、文章を作ることができる。</p>	<p>○類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</p>
	<p>百人一首大会への取り組み</p>	<p>2</p>	<p>○伝統的な文化や和歌に親しむ。</p>	<p>○歴史的仮名遣いを理解している。</p>	<p>○和歌を音読したり、聞いて読むことができる。</p>	<p>○すすんで百人一首カルタに参加し、和歌の作者について調べたりしている。</p>
	<p>二千五百年前からのメッセージ 孔子の言葉</p>	<p>7</p>	<p>○表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ○文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。</p>	<p>○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</p>	<p>○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>○すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

の だ	坊っちゃん	3	○わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	○すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。
	不平等のない社会を考える	3	○持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。	○多様な立場、異なる価値観を理解することができる。	○情報や考えを共有し、社会の課題を考えることができる。	○社会課題に対して、主体的に向き合い、行動しようとしている。
七 訳 の わ か ら ぬ 大 き な 力	走れメロス	7	○抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ○人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 ○登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを深めようとしている。	○すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。
	豚	2	○詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。	○抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	○すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。

八 「学ぶ力」は他人と比べるものではなく、個人的なもの

相違点を明確にして聞く	1	○論理の展開などに注意しながら聞く。 ○話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	○積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって対話しようとしている。
学ぶ力	4	○筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ○本文の「述べ方」や表現の工夫に着目し、筆者の主張を捉える。 ○本文から捉えたことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけ、考えを広げたり深めたりする。	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	○これまでの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
よりよい結論を導く討論をする	2	○結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ○互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。	○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	○積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
文法の小窓3 自立語・付属語のいろいろ 文法(解説)3 付属語のいろいろ	5	○自立語・付属語にはどのようなものがあるのかを知る。	○自立語と助詞や助動詞などはたらきについて理解を深めている。	○自立語・付属語を組み合わせ、文章を作ることができる。	○自立語・付属語のはたらきを理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

漢字の広場4 同音の漢字	2	○同音の漢字についての理解を深める。	○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
「連作ショートショート」を書く	2	○表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ○物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。	○類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	○積極的に表現の効果を考え、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名		時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一、私が「私」として	導入「授業について」 春に	4	●言葉の中の春を読む。	・詩に使われている語句を理解し、鑑賞や表現に必要な語彙を増やそうとしている。 ・語感を磨き、感性を豊かにしている。(1)イ	・詩に描かれた作者の思いを、自分の心と比べながら考えようとしている。 ・詩に描かれた思いの内容や表現の効果について自分の考えを述べている。 C(1)ウ	・詩に使われている表現技法の効果を考え、鑑賞力を高めようとしている。 ・作者の作風や他の作品を調べ、発展的に学ぼうとしている。 C(2)イ
	一言でまとめ一言から広げる	1	●要約や体験談にふさわしい表現のあり方を考える。	・自分の体験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使ってわかりやすく話している。(1)イ ・慣用句や四字熟語などを用いて、一言でまとめる豊かな語彙をもっている。	・話を聞いて、その内容から自分の体験を思い起こして話そうとしている。 ・社会生活の中から話題を探し、多様な考え方を受けとめ、自らも考えようとしている。 A(1)ア	・自ら積極的に発言し、状況に応じて言葉を選び、多様な提案をしようと、柔軟な発想で対応しようとしている。
	なぜ物語が必要なのか	1	●文章の種類や特徴を理解し、知識や経験と結びつける。	・文章の種類についての知識を持っている。(1)ウ	・文章の種類を踏まえた上で、論理や展開の仕方などを捉えている。 C(1)ア	・自身の経験を振り返り、進んで話し合いに参加している。
	立ってくる春	5	●表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。	・言葉の使い分けに注意し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。(1)イ	・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深めている。 C(1)ウ	・意欲をもって作品を読み深め、批評していく中で、情報としての言葉に関心をもとうとしている。
二、人権・多	私	3	●場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深める。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	・読書の意義を理解し、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつことができる。(3)オ	・論理や物語の展開の仕方に注意して読み、他者の考えと比較して自分の考えをまとめる。 C(1)ア	・時間の経過や場面転換などを的確に捉え、社会の一員としての自分の立場や存在について考えようとしている。 C(1)エ
	薔薇のボタン	6	●目的に応じて読み、知識を広げ、自分の考えを深める。	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義や楽しさ、効果について理解している。(3)オ	・批判的な文章の読み方を身に付け、広い視野で物事を考えることができる。 C(1)イ	・積極的に自分の考えたことをまとめようとしている。
	漢字の広場1	1	●漢字の音の歴史についての理解を深める。	・常用漢字に加え、学年別漢字配当表の漢字を理解し、正しく使うことができる。(1)ア	・自分の気持ちや状況を、的確な言葉で表現することができる。(1)イ	・漢字練習など、コツコツ取り組み、漢字や語句を覚えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

ン 様 性 ・ 平 和	メディアリテラシーは、なぜ必要か	2	●新聞の情報や効果などについて考え、社説を比較して読む。	・情報の信憑性を判断し、必要な情報をつかむことができる。(2)イ	・マスメディアによる情報を理解し、その種類や述べ方について理解する。(1)イ	・マスメディアによる情報を正しく理解し、活用しようとしている。
	主張文を書く	2	●自分の課題を見つけ、立場や意見を明確にして主張をまとめる。	・社会に目を向け、必要な情報を利用して、意見を主張することができる。(2)イ	・多様な考えを想定し、伝え合う内容を考えることができる。C (1)ウ	・自分の意見を持ち、根拠を明確にして進んで主張しようとしている。
	漢字の広場2	1	●熟字訓についての理解を深める。	・熟字訓を理解し、正しく使うことができる。(1)ア	・熟字訓を活用して、自分の気持ちを表現しようとしている。(1)イ	・学習した熟字訓を文章の中で使おうとしている。
三、 自然・ 環境・ 科学	言葉の小窓	1	●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。	・和語・漢語・外来語の違いを理解する。(1)オ	・和語・漢語・外来語の違いを理解した上で、それらを使いこなした表現をしようとしている。C (1)ウ	・わからない言葉を調べたり、正しい使い方を身に付けようとしている。
	助詞の働き	2	●活用の無い付属語の働きを知り、文章表現に生かす。	・助詞の種類と働きを理解する。(1)オ	・助詞を使った文章を作ることができる。C (1)ウ	・助詞の働きを理解し、文中から助詞を見分けられるようにしている。
	AIは哲学できるか	4	●現代社会の問題点を探り、筆者のものの見方考え方を捉える。	・文末の語句やに接続語に注意しながら、筆者の主張を理解する。C (1)ア	・文章を読んで考えを広め、自分の意見を持つことができる。C (1)エ	・AIと人間の能力の違いを理解し、それぞれの役割の違いを認め、今後の生活に生かそうとしている。
	具体例を元に説明文を書く	2	●具体例を用いて、分かり易い説明文を書く。	・具体例を挙げて、分かり易く明確に物事を説明する。C (1)ア	・読み手の関心を引くような例を挙げ、構成を工夫する。(1)イ	・資料や図表を活用し、分かり易く説明文を書こうとしている。
	構成を考えて主張をまとめる	1	●社会の中から課題を見つけ、論理や話の展開を工夫する。	・テーマを選び、事例や資料を活用してスピーチを行う。A (1)ア	・目的や場面に応じて、多様な考えを想定して意見を発表する。A (1)ア	・情報や資料を活用して意見を述べようとしている。
四、 表現・ 対話・ 思想	問いかける言葉	1	●同一の新聞記事・テレビニュースの報道を比較して読む。	・テーマを選び、事例や資料を活用してスピーチを行う。A (1)ア	・目的や場面に応じて、多様な考えを想定して意見を発表する。A (1)ア	・情報や資料を活用して意見を述べようとしている。
	説得力のある批評文を書く	2	●事例と主張とを関係づけて読む。	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	・表現の工夫をしながら、説得力のある文章を書く。	・論理的な展開を心掛け、根拠を明確にして批評文を書く。
	言葉の小窓	1	●活用する付属語、助動詞の種類と働きを理解する。	・助動詞の種類を理解し、場面に応じた助動詞を活用させて使うことができる。	・助動詞を使った文章を書くことができる。	・助動詞を使って、相手や場に応じた言葉遣いを身に付けようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

五、 伝統文化	async	4	●社会や他者との関わりについて考え、視野を広げる。	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	・文章を読んで考えを広めたり、人間・自然・社会について自分の意見を持つ。	・物事を図式化しながら考え、整理しようとしている。
	和歌の調べ	7	●古人のものの見方や考え方について、話し合ったり、文章を書いたりして、自分の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、響きを味わう。	・歴史的背景を理解して、古典に親しむ。C(2)	・和歌に込められた作者の思いを理解し、鑑賞しようとしている。C(1)エ	・言葉の違いに注意して、声に出して読み味わい、意味を考えようとしている。
	旅への思い	5	●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。	・俳句の特徴、芭蕉や旅について理解し、古典に親しもうとしている。(3)ア	・歴史的背景を捉え、鑑賞しようとしている。C(1)ウ	・承継や心情を理解し、俳句を味わおうとしている。
	文法	1	●助動詞の活用を理解する	・助動詞の活用の種類を理解する。	・助動詞を使った文章を書くことができる。(1)オ	・単語の働きを理解し、助動詞の活用を覚えようとしている。
	ニュースで情報を編集する	3	●ニュースを構成する情報を整理する。	・ニュースを構成する情報を効果的に使用する。(2)イ	・社会の中から題材を集め、伝えたいことを明確にする。C(1)ウ	・ニュースの形式にまとめようと、工夫をしている。
	俳句の創作	1	●俳句の基礎について知る	・俳句の表現法を理解している。(1)ウ	・俳句を作成し、季語を使って表現する。	・身の周りの現象に目を向け、俳句に生かしていこうとしている。
六、 自己・他者・物語	風景と心情	3	●歴史的背景をふまえて話し合い、情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。	・詩の形式や表現の工夫などを理解する。(1)ウ	・漢詩を音読したり暗唱したりして、作品の響きを味わい、歴史的背景を考慮して、作品を鑑賞する。	・漢詩に親しみ、日本の古典と比較しながら詩を味わおうとしている。
	最後の一句	1	●わが国を代表する作家とその作品について調べ、近代の小説や物語を読む。	・日本の近代小説の特徴を理解し、明治維新などを背景とした人々の思いを探る。(3)ア	・論理や物語の展開の仕方を捉えている。C(1)ア	・近代の小説に親しみ、森鷗外など明治の文豪の作品や世界観に触れ、作品を読み味わおうとしている。
	近代の俳句	3	●言葉の意味を掘り起こして読む。	・俳句の形式や表現技法を理解する。C(1)ア	・近代の俳句を鑑賞した上で、自ら俳句創作にも取り組む。B(1)エ	・表現の仕方を理解し、すすんで作品を鑑賞したり、自らも創作しようとしている。
	漢字の広場3	1	●異字同訓の理解を深める。	・異字同を文の中で使い、違いを理解する。(1)ア	・異字同訓の漢字を書きだすなどして、種類を覚える。	・異字同訓についての練習問題に積極的に取り組もうとしている。
六	初恋	2	●文語定型詩を味わう。	・定型詩のリズム感を味わい、鑑賞する。C(1)	・詩の感想を発表し合う。C(1)ウ	・淡い恋心を理解しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第一中学校

六、語り向き合う	自己PR文を書く	2	●適切な言葉で表現する。	・自己の特徴を、的確な言葉で表現する。	・自己を客観的に表現する。	・自己PRのために工夫を凝らした文章を書こうとしている。
	表現の工夫を評価してスピーチする	1	●経験を整理し、スピーチで自分の良さを客観的に伝える。 ●敬語を用いて、場の状況や聞き手に応じて話す。	・相手に合わせた言葉を選び、思いを伝えるスピーチができる。 (1)イ	・他者のスピーチに耳を傾け、自らもテーマを決めてスピーチすることができる。 A (2)ア	・スピーチのテーマを探り、発表されたスピーチをお互いに評価し、見識や思考力を高めようとしている。
	言葉の小窓	1	●慣用句についての理解を深める。	・慣用句の意味を理解することができる。	・慣用句を的確に自己の文章に使用することができる。	・日常的に使用する慣用句を理解し、それを自己の文章に活用しようとしている。
七、近代化・国際社会・共生	持続可能な未来を創るために	3	●持続可能な社会の実現に向けて、自己の変容を通じて未来を考える。	・人間の生命について考えて理解を深める。	・人間の生命と地球について深く考えることができる。	・人間や生命・自然について考え、地球的な規模で思考することができる。
	意見を共有しながら話し合う	2	●相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ、深める。	・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 (1)エ	・環境問題や資源の有限性について、自分が興味・関心をもっていることを具体的にあげる。	・他者の意見に耳を傾け、積極的に意見を述べようとしている。
	漢字の広場4	1	●配置に注意して書く。	・四字熟語の意味を理解することができる。	・四字熟語を的確に、自己の文章に使用することができる。	・四字熟語を理解し、それを自己の文章に活用しようとしている。
	卒業文集	2	●自己の中学生生活を振り返り、テーマを決め、感謝や決意をこめた作文を書く。	・学習した様々な語彙を使って、自己の気持ちを表現することができる。	・部活動や委員会活動、行事など中学での思い出を振り返り、自分の言葉で自分の気持ちを表現しようとしている。	・過去の文集を参考にしたり、自分の活動を振り返ったりして、進んで文集に取り組もうとしている。
	情報をまとめて作品集を作る	1	●自分の文章を整理し、作品集を作る。	・情報と情報の関係について、理解を深めている。 (2)ア	・題材の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 B (1)ア	・今までの学習を生かして、発表のための資料を作成しようとしている。
	故郷	6	●「私」の抱いた「希望」や社会の中での人間の生き方について考え、自分の意見をもつ。	・場面や登場人物の設定のされ方、構成や展開に着目し、語感や語彙を磨き、作品を味わう。 (1)イ	・登場人物の心情を理解し、社会と個人の間を深く考えることができる。 C(1)イ	・日常的に使用する慣用句を理解し、それを自己の文章に活用しようとしている。
	バースデイ・ガール	3	●読書生活を振り返り、様々な本を読む。	・文章の中で語感を磨き、語彙を豊かにして、読解力を向上させる。(1)イ	・自分の生き方や社会との関わりかたを支える読書の意義と効用を理解している。 C(1)エ	・言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、考えたことを説明しようとしている。
	青春の歌	1	●現代短歌を詠み味わう。	・現代短歌と古典との違いを理解し、古典にはない語彙などを理解する。 (1)イ	・古典とは異なる現代の社会背景を踏まえ、新しい感覚の短歌を鑑賞しようとしている。 C(1)	・文章の種類とその特徴について理解し、学習を生かして批評しようとしている。
やわらかな想い	1	●さくらももこの作品を味わう。	・文集に使われている記号の効果を理解する。 (1)イ	・文章を読んで考えを広げたり、深めたりして、自分の意見を持つ。 C(1)エ	・表現の仕方について評価し、学習課題にそって、批評しようとしている。	